

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 平成 31 年 3 月 17 日（日）午前 10 時～11 時 30 分
場 所 江川分館（鶴ヶ舞一丁目町会）
参加者数 38 人



主な意見等

参加者 2点あります。1点目は接遇の問題です。健康保険の還付金が振り込まれないので、通知書と預金通帳、保険証を持って調べてほしいと窓口に行きました。強い口調で言ったわけではないのですが、係の人は上司の人と相談していました。そして「身分証明をお持ちですか」と提示を求められました。顔写真入りの身分証明書が必要ということでは自分の市の保険証を認めていないということになりませんか。それはおかしいと思います。医療費は、毎月1万8千円を超えると還付されます。入院すると5万7千円、前年8月から1年間では14万4千円ですか。この中で年間の14万4千円を超えた分の領収書はいらないとなっているので、ほかの2種類も領収書をなくしてほしいと思います。

2つ目は、国土調査法に基づく地籍調査についてです。市民の財産を守るために行われると聞きましたが、理解できません。私の家は1月から測量が行われました。そして地番（筆）をもとに公図を取得しました。さらに登記簿を見て土地の面積が変わっていることに気がつきました。「錯誤 国土調査による成果」と書いてありました。住民税などのミスがあれば少額でも新聞などで発表されますが、固定資産税の増減は1㎡で200～300円変わってしまいましたが、この仕組み

はわかりにくいと思います。

市 長 職員の接遇が悪かったという点につきましては、改善するように努めます。領収書の必要性の有無につきましては、担当部署へご意見として伝えます。

地籍調査につきましては、当時の国の制度に基づいて旧大井町で行っております。今と違って精密な測量機器ではないので誤差もあったと思います。個別の案件については、後ほどお願いします。

参加者 お出かけサポートタクシーはいい制度だと思いますが、市外の病院へは通常のタクシーで移動するしかありません。何とかできないでしょうか。

市 長 お出かけサポートタクシーは高齢者の方などが一歩外へ出てほしいという福祉目的からスタートしました。市内運行に限ったこのシステムが成立する要因の一つが市の面積が狭いということです。タクシー会社の協力で行っていますが、この制度に利用できる台数に限りがありますので、移動に要する時間が短いということに非常に意味があるわけです。この制度は国土交通省の陸運局や埼玉県警、公共交通機関の関係者などで組織した協議会で決めて認可を受けています。タクシーという愛称ですが、自由に乗降できるのではなく、共通乗降場を定めた移動手段です。お気持ちはわかりますが、現状では安易な変更は難しい状況です。

参加者 現在、子育て中の世帯です。ふじみ野市の子育てに対する取り組みには感謝しています。小学校1年生になる子どもがいるのですが、放課後等に習いごとへ行かせる際の送迎に困っています。ファミリーサポートセンターなどを活用していますが、「担い手がいらない」ということを聞きました。民間を利用する方法もありますが使い勝手が今一つです。費用が上がっても構わないのでファミリーサポートセンターを拡充してほしいと思います。

市 長 ファミリーサポートセンターは子育てを経験された方たちに協力していただいています。ふじみ野市は子育て世代の方が引っ越されてきて、子どもが増えています。それに伴い、公的支援の希望は多い状況です。お子さんだけで習いごとに行かせるのは不安だというお気持

ちは分かりますが、おっしゃられたようになり手不足の状態です。提供側の拡充は難しい状況ですが、ご要望として承ります。

参加者 上福岡駅前をいいものにしてほしいという要望です。大宮駅前は住みたい街に選ばれましたが、ぜひ追隨してほしいと思います。

市長 大宮駅と比較されると厳しいですね。上福岡駅の西口駅前は再開発が進みましたが、東口駅前は昭和29年に都市計画決定されたものの進められてきませんでした。しかし、まちの玄関口でもありますし、利用者が利用しやすく安全な駅前であってほしいという思いから、駅周辺の整備には力を入れてきました。現在、半分の整備を行うことができたという状況です。まだ完成までには時間がかかりますが、福岡中央公園に二つの高校の通学バス停が設置されているほか、企業の社員送迎用の大型バスが進入してくることもあり、朝の駅周辺は通勤、通学の人たちで混雑しています。その結果、タクシーが発車しづらかったり、車道を歩く人がいたりということで、交通安全対策は待ってられない状況です。そこで駅に歩道橋のような屋根付きの橋を付けることにいたしました。今年度から工事に着工します。2年くらいかかりますが、車道を狭くして、歩道を拡張することも予定しています。

参加者 最近、丸山集会所の線路の向こう側、信号のところに、オレンジ色のポールが立ちました。歩行者の安全対策だろうと思っていましたが、あちこちに立ち始めました。交差点を曲がるときにちょっとした渋滞を引き起こしています。一体、何のために設置されているのでしょうか。

市長 歩行者を守るためです。自転車の事故が増加していますが、自転車は車両であるということをぜひ思い出してほしいと思います。町中の道路を整備して歩道を広くすることはできませんので、苦肉の策として設置いたしました。ドライバーからすればポールを避けてすれ違うために不便だという声を聞きますが、歩行者のためにポールの手前で止まっていただきたいと思います。警察とも協議を行っております。歩行者を守るためですので、ご理解いただきたいと思います。